

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
10. その 他			
福民奨券ポスター (説明文及び奨券とも) ――奨券は5枚連を貼付	大満州国財政部 発行	康德元年 3月	ⅡBfカ4・3-(1)
福民奨券ポスター (説明文とも) ――ⅡBfカ4・3-(1)に同じ	大満州国財政部 発行	康德元年 3月	〃 3-(2)
浄 瑠 璃 尽 之 内 ――梅が枝に小判	一光斎芳盛 ト 山 口	[慶應 2年 正月]	X・ 2-(218)
平 仮 名 盛 衰 記 (横1枚) ――全段ちらし、梅枝の図に小判 湧き出る	国 盛 ⊕ 大国屋		〃 2-(220)
青 墓 宿 強 賊 討 伐 図 (3枚続) ――千両箱、小判散乱	一英斎芳幾 ⊕	[安政 6年 5月]	〃 2-(227)
昔 嘸 花 咲 ち い ――18区割のものがたり	重 宣 山 甚 板		〃 2-(507)
昔 は な し 舌 き り 雀 ――16区割のものがたり	一惠斎芳幾 ⊕	[安政 6年 5月]	〃 2-(508)
新 板 張 合 昔 嘸 ――16区割のうち2枚づつが表 裏の図柄で張合せできるように なっている、花咲爺で小判の図	江 辰 板 ⊕		〃 2-(509)
長 者 出 世 双 六 ――右下破損	よ し 藤		〃 2-(511)
昔 は な し 花 咲 ち い ――4団4列16区割、悪刷	芳 幾 ⊕	[安政 6年 5月]	〃 2-(512)
視 葉 霞 の 引 札 (1枚に上下2段摺) (上) ……⊕八分地藏丸 (下) ……⊕づつうの妙葉 ―― ⊕の副題に大判	一英斎芳幾 ⊕	[文久 2年 10月]	〃 2-(528)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
女猿回しと按摩 ——ころぶ按摩の前に銭、虫損あり			X- 2-(537)
地震御手当宝の山(横1枚) ——大黒天が鯰を踏まえて、小槌 から金をまく			〃 2-(570)
しん板 あんじん物 ——鯰の按摩、大工らの仕事、唐人 飴売りなど5景の割り絵、按摩 の後ろの枕屏風に小判の絵、表 題「じ」の「>」は下の「ん」 と重ねあり、「あんじしん物」 と読むか			〃 2-(572)
しん板 あんじん物 ——X2-(572)に同じ			〃 2-(573)
鯰 絵 ——大鯰、焼失する家、駆けつける 鹿嶋神など			〃 2-(574)
鹿 島 要 石 真 図 ——鯰の上に鹿島神が乗り剣で頭 を押さえる			〃 2-(576)
ゆ す り 鯰 之 図 (横1枚) ——「金持をゆすりにきたか大地 しん」、与三郎見立の鯰			〃 2-(583)
は ね 馬 と 大 判 ——十両大判、X2-(628)の左葉参照	勝又斎 画工 小林 清親 出板人福田熊治良 兌 辻文 板	明治13年 12月届	〃 2-(615)
火 之 用 心 札 (細1枚) ——大黒と唐子に鶏の親子と烏籠、 中央に“火要鎮”その左右に 大小月(嘉永2年巳酉) —— X2-(720)~参照	国 美	(嘉永 2年)	〃 2-(694)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
火 之 用 心 札 (細1枚) ——庚申年大小、大黒と御幣猿 X2-(694)参照	守 義	(万延元年)	X- 2-(720)
火 之 用 心 札 (細1枚) ——辛酉年大小、ゑびす鶏合の行事	守 義	(万延 2年)	〃 2-(721)
火 之 用 心 札 (細1枚) ——戌午大小、大黒馬に乗る	守 義	(安政 5年)	〃 2-(722)
火 之 用 心 札 (細1枚) ——丁巳大小、大黒の袋に金成木	守 義 谷	(安政 4年)	〃 2-(723)
明 治 二 十 年 略 曆 (横1枚) ——各月を双六風に巴状に配す、 年礼者に大黒、中央に(上り) にゑびす	梅堂国政	明治19年 11月届	〃 2-(799)
錢 一 文 日 倍 積	文浪 画 ⑩ 江崎屋		〃 2-(881)
火 之 用 心 札 ——ゑびす大黒、大小月、癸亥		(文久 3年)	〃 2-(913)
火 之 用 心 札 ——大黒、大小月、巳未 “安政六巳”と墨書書入		(安政 6年)	〃 2-(914)
火 之 用 心 札 ——大黒、大小月、甲子		(元治元年)	〃 2-(915)
火 之 用 心 札 ——ゑびす大黒、大小月、乙丑		(慶應元年)	〃 2-(916)
火 之 用 心 札 ——X2-(915)に同じ、大小月、甲子		(元治元年)	〃 2-(917)
火 之 用 心 札 ——大黒に虎		(慶應 2年)	〃 2-(918)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
引札 (大坂さか井伝兵衛) ——大坂新町橋西詰藤右衛門町、 銀札師栄井、各種の判、板木、 看板			X・2-(983)
文 句 入 り 戯 画 (中1枚) ——灰ふきから出るふきがらの大蛇 から7区画の小コマ図に詞入の 戯画、あびす大黒の図に小判	一勇齋国芳 柳枝 戯画		〃 2-(990)
地 □ 絵 (小1枚) ——大きな小判包、 “物議さ延茂の代には土の金”	広 重 井 板		〃 2-(991)
地 □ 絵 (小1枚) ——質店帳場先、“七種をしまい 質くさかつき出し”	広 重 井 板		〃 2-(992)
新 令 五 十 五 箇 條 図 解 (3枚続) ——違式註違 小札、千両箱	豊 国 海老屋林之助 板	[明治 6年 2月]	〃 2-(1004)
旧 弊 開 化 盛 衰 へ ら べ (3枚続) ——拾円札	梅堂 狂画 画工 竹内 栄久 出板人大西庄之助	明治10年 5月11日届	〃 2-(1005)
改正 勅奏官等並二人名一覧 (3枚続) ——参議以下の人名と年俸、出身地 を上段に示し、下2/3 に礼装の 主要人が椅子に坐す、定価六銭	画工 橋本 直義 出版 木曾直次良	明治11年 2月 8日届	〃 2-(1006)
愛知県岐阜県 震災義捐金一覧表 —— (3枚続)、中央で鯨の首引、 上段に宮家以下高額寄附金 人名表	香朝 戯一筆 編輯印刷兼発行人 澤 久次郎	明治24年11 月印刷出版	〃 2-(1009)
五 子 十 童 図 ——だまし絵、顔は5人ながら身体 を組合せて1つが2人の身体に ついてみえる、五子は地震、あ んま、地藏、土方、雷の児			〃 2-(1029)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
西南戦争 図 (横1枚) ——西郷軍票の図を示す	芳 光 編輯人池田傳兵衛	明治10年 6月発行	X・ 2-(1039)
西南戦争 図 (横1枚) ——X2-(1039) に同じ	芳 光 編輯人池田傳兵衛	明治10年 6月発行	〃 2-(1040)
報 条 (長判1枚) ——栃木中町小間物問屋栃屋兵衛 (稲葉重蔵改名披露) 文は式亭小三馬	一勇齋国芳		〃 2-(1041)
紋 ち ら し (ウチワ絵、1枚) ——剥取、小判の盆栽を丸結び	㊦		〃 2-(1044)
伊勢土産 あいの山 (ウチワ絵、1枚) ——原紙、お杉お玉に銭つぶて	五雲亭貞秀 令	[安政 4年 12月]	〃 2-(1045)
見立七婦子仁ほてい (ウチワ絵、1枚) ——子供の布袋が裸で居るに母が 着物をきせんとする	一勇齋国芳 引		〃 2-(1046)
忠臣見立 二段め (ウチワ絵、1枚) ——原紙、引幕をかかげて三宝に のせたひねり銭を窺う女	豊 国 余		〃 2-(1047)
呉服太物店店先 (ウチワ絵、1枚) ——原紙、裁断	国 芳 下		〃 2-(1048)
呉服店 松倉屋 (ウチワ絵、1枚) ——原紙、人力車あり、客、商人、 通行人は丁髪で斬髪は1人のみ	梅堂国政 下		〃 2-(1049)
呉服店 大坂屋 (ウチワ絵、1枚) ——原紙、紫色は明治絵具	国 政 ㊦ 堀式遠又		〃 2-(1050)
呉服唐物店 森 田 (ウチワ絵、1枚) ——原紙、人力車、洋服姿あり	国 政 下		〃 2-(1051)
太物唐物店 泉屋 (ウチワ絵、1枚) ——原紙、図柄はX2-(1051) と全く 同一、店名のみを変更	国 政 下		〃 2-(1052)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
刃物店江戸屋 (ウチワ絵、1枚) ——洋傘あり	梅堂国政		X- 2-(1053)
呉服太物店 鈴木屋 (ウチワ絵、1枚) ——人力、洋傘など	堀式 遠又 ⊕		〃 2-(1054)
米 屋 (ウチワ絵、1枚) ——人力、洋傘			〃 2-(1055)
呉服店 宮崎屋 (ウチワ絵、1枚) ——人力車、店員は斬髪	房 種		〃 2-(1056)
呉服太物店 ⊕ (ウチワ絵、1枚) ——店名なし			〃 2-(1057)
薩摩琉球物産大販売所 —— (ウチワ絵、1枚)	玉 英		〃 2-(1058)
修身掛札 (墨刷、縦長1枚) ——上部に「身の用心」、 下部は「金になる木」	信行社 編輯		X- 3-(7)
東都名所古跡神社佛閣獨案内記 —— (横1枚、2枚継)、案内地図		天保14年 改月	〃 3-(10)
違式註違図解 (墨刷、横長1枚) ——80区画に両令各35条を図解 X2-(1004) 参照	編輯出板人 前田喜次郎 売捌人錦屋喜兵衛	明治 9年 12月27日届 同10年出板	〃 3-(11)
富国歩ミ初メ	作者・出板人 佐田 翠眼	明治13年 1月出板	〃 3-(12)
古銭会集客図 (横1枚) ——明治28年 5月16日大坂催物場に 参集の各人の和歌と顔部を和同 以下銭貨に擬して配す 催主 糟谷安楽堂真頭	春斎景重	明治28年	〃 3-(13)
古銭会集客図 (横1枚) ——図は X3-(13)と同一 催主 安楽堂糟谷真頭	春斎景重	明治31年 5月	〃 3-(14)


表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
古 銭 会 集 客 図 (墨刷のみ、横1枚) ——X3-(13、14)の下部の図部分を 墨刷だけしたもの 「聴古堂」朱印	春斎景重		X・3-(15)
中 山 文 七 夢 物 語 (墨刷、1枚) ——洛東黒谷前中山文七虫男入道の 昼寝の夢の景、木戸にはエンマ と鬼共(その前に銭)、演目は 忠臣蔵、役者名前など芝居番附 の体裁	長秀 画 		〃 3-(22)
銭 吉 改 名 披 露 摺 物 ——㊦ 吉政 寿銭齋、梅玉の顔 を添う、高砂契姥を大王宝に のせる			〃 3-(29)
銭 獅 子 図 ——身体を銭貨で埋めた獅子図、上 部に「靈筵鎖字」の印章	中 国		〃 3-(35)
萬 福 和 合 神 ——仙人風の2神、衣装に和同開珍 など銭貨模様			〃 3-(36)
徳育図画 女子修身鑑附録 (横1枚) ——“身をたつる木” “身をやぶる 木”を左右に	山井道子 著 発行兼印刷人 東條 春雄	明治25年 1月11日 印刷出版	〃 3-(37)
大 坂 名 所 案 内 図 (横1枚) ——堺筋長堀橋南詰平野屋 (宿屋) 名入、上下(天地)に「名所荒 増記」と主要商店名			〃 3-(43)
大山不動奉納金品一覧 (墨刷、横1枚) ——天部綴込	越谷松前八五郎板		〃 3-(60)
忠 臣 蔵 六 段 目 (墨刷、横1枚) ——小判包と証文を前に浪人風と 武士、横に女房立つ 裏紙使用、試し刷か			〃 3-(62)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
絵 入 ど ど ー (墨刷、横1枚) ——12区図、大黒、猫に小判			X・3-(63)
勢 州 豊 久 銭 懸 松 ——X3-(65)の後摺			〃 3-(64)
勢 州 豊 久 銭 懸 松 ——定価金二銭	印刷兼発行者 懸 辨 阿	明治21年 3月13日 出版御届	〃 3-(65)
地 震 防 ぎ 呪 札 ——不動明王を中央に四天王の梵字 下半に神体(鹿島明神)、天井 と家の四方に貼って護符とす			〃 3-(67)
南 州 堂 包 紙 ——(薩摩物産扱所) “新原商店”の朱印	堀江二、大和屋製		〃 3-(68)
芝 口 青 柳 軒 告 條 ——青柳軒(馬車屋)、馬車の絵			〃 3-(69)
引 札 見 本 ——右上、左下は空白のまま、これ をもとに注文主の記事を入れて 引札としたもの			〃 3-(75)
花 咲 爺 (小1枚) ——小判を堀り当てた爺と犬、裏面 に「別印百四拾式号」と印字あ り何かの商品見本	小 信 筆		〃 3-(80)
お 福 面 (小1枚) ——扇面にお福の面			〃 3-(83)
安 政 三 丙 辰 大 小 曆 (墨刷、1枚) ——大~正、4、6、8、10、12 小~ 2、3、5、7、11		安 政 3 年	〃 3-(86)
百 人 一 首 鐘 聲 抄 その壺 ——2区(2首)、 略画風、貨幣は特になし	広 重		〃 3-(87)



表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
娘 と 小 判 (小横、1枚) ——柄鏡をもつ娘、鏡箱に小判	広 業		X・3-(88)
歳 旦 俳 句 (長1枚) ——春の俳句、冒頭に土中から小判 を掘りあてし老爺		壬戌年春	〃 3-(89)
久 か た や 七 番 之 内 (小色紙、1枚) ——六歌仙、錢をとめた五重塔、 和歌の絵馬、額を社殿に並べ た景			〃 3-(91)
歳 旦 帖 (小1枚) ——已成金、已成金の2つの百両包 の封印に大暦、歌2首	溪 斎	(文政 4年)	〃 3-(92)
翫用物宝当物 金銭不用 (墨刷、1枚) ——3 2 区画に鶴、鼓などの絵、 2枚の金銀紙を貼って割印あり	著作印刷発行者 川嶋 忠義	明治21年 1月10日 御届印刷 同 2月25日 発行	〃 3-(95)
当 て 物 (墨刷、小長1枚) ——2 4 区画に七福神、財宝などを 紋所風に描く			〃 3-(96)
元 文 二 年 大 小 暦 (墨刷、細1枚) ——大、小を大判、小判で示す	板元 土佐屋	元文 2年	〃 3-(97)
傘 形 福 引 当 て 物 (墨刷、1枚) ——傘形に細分したところに福神 などの図			〃 3-(98)
児 童 当 画 金 銭 不 用 (墨刷、1枚) ——傘形			〃 3-(99)
錦 絵 修 身 談 卷 三	年方画、年親校		〃 3-(100)
し ん 板 車 づ く し ——ぬれにじみ	じめいゑ		〃 3-(101)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
改正諸税便覧 ——会社以下諸営業税、上部に 娼妓、俳優、講談家の半身画 右側綴込、定価壹錢五厘	編輯人稲葉 永孝 出版人尾崎直三郎	明治13年 10月5日 出版御届	X・3-(102)
山形県 秋田県御巡幸輦路御休泊供奉御列図表 北海道 ——(墨刷、長1枚(2枚継)) 右綴込、定価五錢	編輯画工出板人 村上豊次郎	明治14年 8月20日 御届出板	〃 3-(103)
証書づくり ——公債、株券、賞状など各種証券	越米 版 臨写印刷兼発行者 松野米次郎	明治28年11 月5日印刷 同 8日発行	〃 3-(104)
明治四辛未略曆(細1枚) ——柱曆風、御用銀札師栄井武兵衛 の引札			〃 3-(106)
大判と朝日(ウチワ絵、1枚) ——X3-(107)と同系			〃 3-(108)
東京新和泉町 小野里 舌代 ——米沢産織物売出、官製ハガキ の表裏の体裁、ウチワ絵の地紙	堀江二 やまとや製		〃 3-(109)
文化九年略曆(墨刷、小1枚) ——芝居絵番附風、絵は大黒と弁天 の道行			〃 3-(110)
紋所づくり ——中央に金時図(金時のみ朱・藍 2色)	栄寿堂 西村再版		〃 3-(111)
紋所づくり —— X3-(111) に同じ	栄寿堂 西村再版		〃 3-(112)
年賀状(いがき大、1枚) ——庚午元旦と馬の絵を錢の形の の内に記す		(昭和5年)	〃 3-(116)
紙 錢(瓦版、小1枚)			〃 3-(117)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
神 楽 舞 図 (横1枚) ——内陣で釜を据え奉納、一部 白色は単彩			X・3-(118)
お 陰 参 り 図 (墨刷、横1枚) ——文政13年 3月30日阿波国より 始る3月～8月各月参詣人数 を示す		(文政13年)	〃 3-(121)
地震の用心・火の用心札 ——それぞれの用心事項を簡条書 とす	二松軒案、古城画 板元伊勢辰立退所		〃 3-(122)
寛 延 二 年 略 曆 (墨刷、1枚) ——下段に錢と錢糞			〃 3-(123)
東京日日新聞 新聞百面相生人形 —— (墨刷、横1枚)、 「来ル一月一日より銀座四丁目 れんが石ニ於て興行仕候」 細工人 尾村家喜知	松紫 画		〃 3-(124)
歳 旦 図 (小1枚) ——百両包と千とせあめ袋	北 鷲	巳1春	〃 3-(125)
孝 女 御 褒 (墨刷、横1枚) ——中村屋民助娘とら (17才)	信成舎施印	嘉永 7年 6月	〃 3-(126)
当 て 物 (墨刷、横1枚) ——24区画に16の品物を各2図 を描く、但し2図の組合せの 同一のものなし			〃 3-(127)
児 童 翫 当 画 (墨刷、横1枚) ——円形の当てもの画			〃 3-(128)
当 て も の (墨刷、横1枚) ——18区画に12品を2図づつ 描く			〃 3-(129)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
雙 全 図 (豎1枚) —— 2童子、錢2種 (太平通宝、 天子万年) をもつ、		光緒癸卯 春暮	X· 3-(130)
庚 德 三 年 陰 陽 合 曆			〃 3-(131)
閨 家 飲 楽 図 (筆彩、横大1枚)	教育科画工師 王紹田 稿 万盛恒王 題		〃 3-(132)
閨 家 飲 集	養成永		〃 3-(133)
紙 錢			〃 3-(134)
改正東京区分町鑑 改正府県概略表 —— (銅版、横1枚)、中央に表題 の2表、四周は東京名所	編輯兼出版人 安田 虎男	明治14年 7月6日届	〃 3-(135)
官許 内国便覧表 (銅版、扇形1枚) —— 歳入歳出額は明治六年分	石田才次郎 編輯 石田雨麦亭 製板	(明治 7年)	〃 3-(136)
旅人宿三上半三郎 (ウチワ絵、1枚) —— 武蔵野銀行支店、三ッ峯、御嶽 講宿			〃 3-(137)
諸国 遊所大見立 (墨刷、小1枚) —— 公私混合にて番附仕立、遊興費 を記す	平安春燈齋 銅刻		〃 3-(138)
永代日出宝鏡 (小横1枚) —— 教訓書付	玄二堂 蔵版	文久 2年 9月新板	〃 3-(139)
元治二年略曆 (銅版、墨刷、小横1枚) —— 大~正、4、7、8、10、11 小~ 2、3、5、6、9、12			〃 3-(140)
元 治 二 年 略 曆 (墨刷、小横1枚) —— X3-(140) に同じ			〃 3-(141)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
古今貨幣づくし (藍刷、1枚)	梅堂小国政 豊栄堂 版 印刷兼発行者 尾関 トヨ	明治22年10 月28日印刷 同11月 4日 出版	X・ 3-(142)
引 札 用 紙 (横1枚) ——あびす大黒と金のなる木、左辺 空白は店名刷込の余白			〃 3-(147)
引 札 用 紙 (横1枚) ——稲穂のバックに短冊2枚へ あびす大黒	芳 文		〃 3-(151)
引 札 用 紙 (横1枚) ——大黒と松に牡丹、「不老富貴」			〃 3-(152)
引 札 用 紙 (横1枚) ——金のなる木に娘と童女			〃 3-(153)
引 札 用 紙 (縦1枚) ——軍服の小児大黒が弁髪中国人 と金髪商人を秤にかける 空白は上部、「版權登録」			〃 3-(154)
新彫古今貨幣之雛形 NO.2 —— (石版、縦1枚) X3-(159)と揃物、子供手遊銀行 発行の拾円～拾萬円紙幣	画工印刷兼発行者 荒川 藤兵衛	明治22年12 月21日印刷 同27日出版	〃 3-(158)
新彫古今貨幣之雛形 ——X3-(158)にNO.2あり、小判形 と硬貨及び五拾銭～五千元紙幣 (子供手遊銀行)	画工印刷兼発行者 荒川 藤兵衛	明治22年12 月21日印刷 同27日発行	〃 3-(159)
The spectatovs in Rice haue suvuived once move (石版墨刷、横1枚) ——明一八、一二、一二団々珍聞 第五百二十二号の裏面に刷る	清親 筆		〃 3-(160)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
THE JAPANESE EXPOSITION OF SOCIAL CUSTOMS AND MANNERS —— (石版墨刷、横1枚) マッチに火打石、脱帽握手に 直垂坐礼などの組合せ、 団々珍聞第五百十八号の裏面	清 親		X- 3-(161)
矢 的 屋 の 大 掃 除 —— (石版墨刷、1枚) 旧来の道具 (やかん、行燈、筭 など) の整理、団々珍聞第五百 二十三号の裏面	清 親		// 3-(162)
貨 幣 紙 幣 尽 ——寛永銭、天保銭と明治の金、白 銅、銅貨及び20銭~百円の おもちゃ紙幣	印刷兼発行者 森本 順三郎	明治22年10 月3日印刷 同 出版	// 3-(163)
貨 紙 幣 づ く し (墨刷、1枚) ——おもちゃ用	春曉画・木宗版 印刷兼発行者 小森 宗治郎	明治22年 12月印刷 同 出版	// 3-(164)
新 板 金 銀 紙 幣 づ く し (墨刷、1枚) ——子供おもちゃ用、 式拾銭~千億万円	木宗 板 印刷兼発行者 小森 宗治郎	明治24年 印刷出版	// 3-(165)
見 立 浦 島 図 (横1枚) ——玉手箱からは硬貨らしきものが あふれ乙姫の従者の顔は金貨、 一円貨、龍宮城は洋館	清 親		// 3-(167)
見 本 大 黒 天 (色紙判1枚) ——大黒がふり出した小判には廉価 親切、得意、精品などの文字 “仁廿五号”と墨書、前整理者 は“団扇絵”と推定しあり			// 3-(173)
唐 獅 子 図 (色紙、1枚) ——貨幣とは関係なし	八十八齡 前北斎		// 3-(174)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
獅子図 ——貨幣との関係なし、獅子後背図	八十八齡 前北斎		X- 3-(175)
扇子地紙 (扇子、1枚) ——北総野田、商誘銀行、株式会社 を銭形の中に記して散らし模様 とす、広告用の扇子、使用済を 剥がしたもの			〃 3-(176)
まゆ玉をもつ婦人 (油彩色印刷1枚) ——まゆ玉に拾両大判、ショールで 頭を覆う婦人像	S. OKDA (岡田三郎助)		〃 3-(177)
星井寺宝物古銭二種 (色紙判、1枚) ——崇寧、元豊の二文、銭面には “寿福海山”、“十福”の文字	鎌倉志俊満 製		〃 3-(178)
貯金奨励雙六 (大1枚) ——四十九貯金銀行	著作者奥村藤次郎 印刷兼発行者 林 虎之助	明治31年12 月16日印刷 同20日発行	〃 3-(180)
人財両旺富貴吉祥 (凸版、1枚)			〃 3-(182)
大発財源 (凸版、1枚) ——木をゆすって壱円硬貨を布袋 に集める子供達	誠文信書局 出品		〃 3-(183)
争奪財神 (凸版、1枚)	誠文信書局 出品		〃 3-(184)
天賜黄金 (凸版、1枚)	誠文信書局 出品		〃 3-(185)
財神叫門 (凸版、1枚)	誠文信書局 出品		〃 3-(186)
大発財源 (凸版、1枚) —— X3-(183) に同じ	誠文信書局 出品		〃 3-(187)
金銀満庫 (凸版、1枚)	誠文信書局 出品		〃 3-(188)
天賜黄金 (凸版、1枚) —— X3-(185) に同じ	誠文信書局 出品		〃 3-(189)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
劉 海 進 宝 (凸版、1枚)	文信書局美術部 出品		X- 3-(190)
正月初二接財神 (凸版、1枚)	誠文信書局 出品		〃 3-(191)
争 奪 財 神 (凸版、1枚) —— X3-(184) に同じ	誠文信書局 出品		〃 3-(192)
金 銀 満 庫 (凸版、1枚) —— X3-(188) に同じ	誠文信書局 出品		〃 3-(193)
宝 地 生 財 (凸版、1枚)	誠文信書局 出品		〃 3-(194)
大 発 財 源 (凸版、1枚) —— X3-(183) に同じ	誠文信書局 出品		〃 3-(195)
財 神 進 宝 (凸版、1枚) ——河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広富華 印刷局零整批発		〃 3-(196)
五 路 進 財 (凸版、1枚) ——河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広富華 印刷局零整批発		〃 3-(197)
文 武 財 神 進 宝 (凸版、1枚) ——河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広富華 印刷局零整批発		〃 3-(198)
宝 馬 進 財 (凸版、1枚) ——河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広富華 印刷局零整批発		〃 3-(199)
財 神 進 宝 (凸版、1枚) —— X3-(196) に同じ 河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広富華 印刷局零整批発		〃 3-(200)
文 武 財 神 進 宝 (凸版、1枚) —— X3-(198) に同じ 河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広富華 印刷局零整批発		〃 3-(201)
発 福 生 財 樹 搥 錢 (凸版、1枚)	天津西広開富華 印刷局出版		〃 3-(202)
宝 馬 錢 龍 (凸版、1枚)	天津西広開富華 印刷局印		〃 3-(203)



表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
擡 錢 樹 (凸版、1枚) ——河北省教育厅審定註冊翻印准究	天津西広開化銅厥 対遇富華印刷局印		X· 3-(204)
推 車 進 宝 (凸版、1枚)	天津北馬路華中 印刷局出版		〃 3-(205)
財 神 叫 門 (凸版、1枚) —— X3-(186) とは別図	天津北馬路華中 印刷局出版		〃 3-(206)
招 財 童 子 真 来 了 (凸版、1枚)	天津北馬路華中 印刷局出版		〃 3-(207)
天 賜 黄 金 (凸版、1枚) —— X3-(185) と同図、但し文字 形は別	天津北馬路華中 印刷局出版		〃 3-(208)
馬 上 発 財 (凸版、1枚)	天津東馬路六吉里 振記印刷局印		〃 3-(209)
喜 笑 三 合 (凸版、1枚)	鴻 寶 天津東馬路六吉里 振記印刷局印		〃 3-(210)
日 進 斗 金 (凸版、1枚)	鴻 寶 天津東馬路六吉里 振記印刷局印		〃 3-(211)
財 童 宝 馬 (凸版、1枚)	天津東馬路六吉里 振記印刷局印		〃 3-(212)
財 過 百 斗 (凸版、1枚)	天津毓順成芳記		〃 3-(213)
文 武 財 神 推 車 進 宝 (凸版、1枚)	天津毓順成芳記		〃 3-(214)
宝 聚 財 宝 (凸版、1枚)	天津毓順成芳記		〃 3-(215)
老 鼠 娶 媳 婦 (凸版、1枚)	天津毓順成芳記		〃 3-(216)
連 仲 三 元 (凸版、1枚) ——中華民國開国記念幣	天津榮業大街協成 印刷局印		〃 3-(217)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
五路進財 (凸版、1枚)	天津栄業大街協成 印刷局印		X- 3-(218)
銭龍宝馬 (凸版、1枚)	天津鼓樓北毓順成 芳記畫莊製		〃 3-(219)
童結財源 (凸版、1枚) —— X3-(183) と同系の図	天津鼓樓北毓順成 芳記畫莊製		〃 3-(220)
新宝聚財豊 (凸版、1枚)	天津北馬路華中 印刷局出版		〃 3-(221)
春牛図 (凸版、1枚)			〃 3-(222)
新年大発財 (凸版、1枚)	天津北馬路華中 印刷局出版		〃 3-(223)
馬上得利 (凸版、1枚)			〃 3-(224)
洪福斎天 (凸版、1枚)	天津西頭小夥巷 源和印刷所出品	民国22年	〃 3-(225)
大国山出世近道 (墨刷、1枚) —— 一定価二銭	編輯出版人 藤松 喜三郎	明治18年 7月 3日届	〃 3-(226)
漫画旅行日本全図 第八図 —— (凸版、1枚)、 北関東と越後、会津、上越線は 沼田止り、新潟側は塩沢まで	横山啓、 井上精二合作		〃 3-(227)
荒歳流民救恤図 (卷子、1巻) —— 天保8年正月～同9年3月京 三條橋畔救小屋図	田 原 渡辺登		〃 3-(231)
未聞有徳志施集福門拜 (墨刷、横1枚) —— 天保8年江戸有徳人等の施行 米銭を記す	大野屋金蔵 板		X- 4-(1)
江戸大火被災人施行記 —— (墨刷、2枚半貼継) 弘化三 丙午正月十五日大火後の施行 につき金品、人名を列記			〃 4-(2)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
善 悪 心 の 秤 (活字印刷、横1枚) ——教学論集第四拾六編附録	発行所持主兼編輯 水溪 智応	明治20年10 月 5日発行	X・ 4-(4)
慶應三卯初冬 神佛降臨 末代咄し <sup>まつだいばな</sup> —— (横1枚)、お札降り、ええ じゃないか (踊りの部分3色 摺) 小判、銭、福神像降る図、 左2/3 に降臨の品名、日時、拾 得者名を列記、拾得者の住所は すべて京の町名			〃 4-(7)
忠勤 孝行 貞節 末代嘸 <sup>まつ だい はなし</sup> —— (墨刷、横1枚)、6年以前よ りの御褒美頂戴人を列記、住所 はすべて大坂の町名		嘉永 7年 8月大新刻	〃 4-(8)
孝行 處女 末代嘸 <sup>まつ だい はなし</sup> (横1枚) ——大坂二本松町民助娘とら御褒 を受けし瓦版、上段に惣年寄 の御達、下段に惣年寄以下篤志 家が寄せし金品の目録		(嘉永 7年 7月)	〃 4-(9)
家 聞 有 徳 志 施 集 (墨刷、横1枚) ——天保4年秋凶作不況に江戸有徳 町人等の抛出金品目録、右上の 趣旨を述べし所にゑびす大黒と 千両箱、小判を描き込みあり	松坂屋 吉		〃 4-(10)
泰平御冥加上納金名前附 (横3枚) ——江戸町人冥加上納3千両 (三井、 鴻池、坂倉、大丸など) 以下 3百両までの金額、居所、名前 を上下2段の16行 (計32 行) の刷物として3枚に分つ			X・ 5-(1)
大日本六十余羽 持 ○ 長 者 鑑 <sup>もち まる ちやう じや かがみ</sup> —— (墨刷、横大1枚) 題字下に金のなる木	叶舎喜太郎 開板		〃 5-(14)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
大日本 分限者 諸商民 繁栄鑑 —— (墨刷、横大1枚) 右下隅余白少破		文久四子歳	X・ 5-(15)
故現高名家唐紙半切並短冊類価附 —— (墨刷、横1枚)、書と画とに 分けて並記 (各55人)	石玄九	文久元年 孟夏	〃 5-(19)
有 円 大 鑑 (大1枚、3枚継)	編輯兼出版人 前田 徳太郎	明治19年 4月5日 出版御届 同 5月20日 刻成納本	〃 5-(31)
現存雷名 江戸文人 藝能鏡花廼顔見世 —— (横1枚) 儒家、書家、画家、 国学、佛学、詩人、和歌、俳 諧、印刻、狂詠、戯作、蘭科、 雑学など、上段を番附にし、下 段に主要人を歌舞伎見立て人名 付に顔を描く、下段は多色版、 縁枠に天保銭ちらし、 「不許売買千枚摺絶板」	江戸平亭銀鷄編輯 店元 東天紅廬		〃 5-(37)
金 銀 山 大 盛 祭 礼 図 —— (肉筆<紙本着色>1枚) 大太鼓の胴に「山大盛」、拵を もって舞う男の烏帽子に「金銀 山大盛」、踊手の腹がけ等に 「銅山」「中尾」「中尾間歩」 「大盛」山車に「羽田町」など の文字あり、団扇形の幡に「中 辺」の文字、幡はほかに将棋の 駒とだるまあり			X・ 6-(1)
お杉お玉の図 (肉筆<紙本着色>1枚) ——路傍の小屋で三味線を弾く女の 側に銭、旅人には銭糞をもつも のあり、狂画風			〃 6-(2)